

病気で倒れ今を楽しもうと開き直り、 息子と極限を体感した一夜

私は、息子とともに極限を体感いたしました。

義理の母ではありますが息子は共に生活をする家族です。

そんな息子と行きつく果てまで行きついてしまったことは
しばらく眠れない日々が続くほどに背徳的感情が生じまし
たが・・・とても心地よい一夜でした。

きっかけと呼べるものかどうかわかりませんが一つの発端、
端緒と呼べるものは私の緊急入院です。

車を運転し職場へ向かっていた道中、急に発作のような感覚に襲われパニックになりました。

目の前が真っ白になり、フロントガラス越しの前方は星のように光っています。

これは駄目だと思い路肩に車を止め、意識を失いそうな状態で携帯を取り出し救急車を呼びました・・・・。

脳に出血が見られ、後遺症が残るほど進行はしていなかったようで安心しましたがそれからその総合病院で2ヶ月にわたる長期入院をいたしました。

・・・仕事で懸命の日々。

新しい職務を与えられた最中で意気込んでいた矢先です。

夫が他界の後、女手一つで息子を育て仕事との両立で頑張っておりました。

義理の息子もそれなりに気が利く子で、家事などは私が指示する通りに手伝ってくれます。

時折、既に結婚して都会へ住んでいるもう一人の息子（兄）が、家事などの手伝いにお嫁さんを連れて帰ってきてくれることもありました。

病気で倒れたことは・・・・・・激しい苦痛を伴うもので、自分の人生もこれまでかと悟った瞬間もありました。

・・・・・・一種の開き直りが生じたのです。

仕事をこれからまだまだ頑張っていかななくてはならない。
その意気込んだ意気揚々とした心持ちから考え方が方向転換しました。

ある種私は弱り果ててしまったのですが、同時にどこからやってきたのか自分でもうまく説明のつかないエネルギーが生じてきたというか・・・・・・。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)